

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームぬくぬくの家・幸

作成日 : 平成 25年 12月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	エレベーターに挟まれる危険性がある為、エレベーター押しボタンにカバーをしていた。	入居者の安全性を確保しながら自由な暮らしを支えられるように工夫や対応をする。	エレベーターボタンのカバーを取り外す。入居者の行動パターンを把握し、安全に過ごせる環境づくりに取り組む。	3ヶ月
2	45	入浴や排泄など、同性介助が出来ない時がある。	^	入居者1人ひとりの意向を確認しケアを行う。尊厳、プライバシーについて共有認識を図るため、勉強会を行う。	3ヶ月
3	33	終末期をどのように迎えたいのか、重度化した場合の対応などについて繰り返しの家族との話し合いや職員間での統一したケアの方針については話合われていない。	終末期や重度化に向けた方針について、入居者の状況や事業所の機能も踏まえながら、対応について検討する機会を設ける。できる限り入居者や家族の要望に沿った支援ができるよう取り組む。	事業所は関係機関と連携し、どこまでの支援が可能か、見極めケアの方針について確認する。家族、本人と早い段階で重度化や終末期についての話し合いを持つ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。